

タイ政府日本教職員招へいプログラム (タイ派遣プログラム)

2025年2月9日(日)、2月15日(土)、2月16日(日) - 2月22日(土)

募集要項

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) は、ユネスコの基本理念に基づき、相互理解の促進と持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。その活動の一つとして、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好の促進を目的に、未来を担う子どもたちを育む「教職員」を対象とした国際交流事業を日本政府の協力のもと2001年より開始し、これまでに日本と韓国・中国・タイ・インドとの間で、4,400人を超える海外教職員を日本へ招へいし、また日本からは1,200人以上の教職員を海外に派遣してきました。その結果、教職員の学びが数多くの生徒・教職員・地域住民に還元されるほか、当事業をきっかけに多くの学校間の国際交流が生まれ、各国間の相互理解と友好の促進に貢献してきました。

初等中等教育における日タイ間の交流事業においては、2015年度にタイ教職員を日本に招へいするプログラムが開始されて以来、毎年15名のタイ教職員が日本を訪問し、教職員や児童・生徒との交流を深めてきました。そして、これらの実績が評価され、2017年に行われた日タイの教育大臣による会談においてタイ政府による日本教職員の受入れが提案されたことを契機に、2018年に「第1回タイ政府日本教職員招へいプログラム」が実施され、5名の日本教職員がタイを訪問することにより、日本側・タイ側の念願であった双方向での交流事業が開始されました。2019年度には7名、2023年度は6名の日本教職員が派遣され、コロナ禍ではオンラインを通して交流を続けてまいりました。

2024年度はタイ教育省協力のもと、文部科学省委託「初等中等教職員国際交流事業」の一環として、8名の教職員が下記の要項に基づきタイを訪問します。この事業は、「『あたらしい』学び」や「新時代に求められる教職員像」をテーマに実施され、「異文化を通して学ぶ」・「『出会い』から学ぶ」というふたつの「学び」を通して、これからの学びの在り方を問い直し、協創するヒントをつかむ機会を提供いたします。

2. 目的

- ・日本とタイ教職員の交流促進のため、参加者がそれぞれの考えや教育実践を共有する機会を提供すること
- ・タイの教育事情に関する知識を得てタイに対する理解を深めること
- ・学校間の連携のため、日タイ教職員間のネットワークを構築すること
- ・日本とタイ教職員同士のつながりを強化すること

3. 活動内容

- (1) 学校等の教育施設の訪問
- (2) タイの教職員および児童生徒との教育現場での交流・意見交換
- (3) 教育・文化施設の視察
- (4) 現地滞在前後のオンラインオリエンテーションやリフレクション

(5) プログラムでの経験や学び、リソースを活用した教育実践など

4. 日程

オリエンテーション①：2025年2月9日（日）（オンライン）

オリエンテーション②：2025年2月15日（土）（出発前日）

タイ滞在期間：2025年2月16日（日） - 2月22日（土）（7日間）

日付		場所	活動
2月9日（日）	午前-早い午後	オンライン	-オリエンテーション① -タイの教育事情に関する講義 広島大学大学院人間社会科学研究科准教授 牧 貴愛 氏
2月15日（土）		東京の空港近辺	オリエンテーション② ※フライトの時間によっては出発が2/15（土）の可能性ある。
2月16日（日）	タイ滞在 第1日目	バンコク	タイ到着 現地オリエンテーション
2月17日（月）	タイ滞在 第2日目	バンコク	タイ教育省表敬訪問 学校訪問
2月18日（火）	タイ滞在 第3日目	ナコーンパトム県	学校訪問
2月19日（水）	タイ滞在 第4日目	ナコーンパトム県	文化・歴史施設等訪問 学校訪問
2月20日（木）	タイ滞在 第5日目	ナコーンパトム県	文化交流
2月21日（金）	タイ滞在 第6日目	バンコク	プログラム評価会
2月22日（土）	タイ滞在 第7日目	バンコク	タイ出発 ※フライトの時間によっては帰国が2/23（日）の可能性ある。

注：日程や訪問先、活動内容は変更の可能性あり。詳細が決定次第、参加者に共有する。

5. 参加者

公募により選抜された、日タイ間の教職員交流に高い関心を持つ自治体または学校の教職員8名
※前述8名以外に文部科学省、ACCUの職員各1名が同行する。

6. 申請資格

- (1) 日本国籍を有すること。
- (2) 過去に本プログラムに参加したことがないこと（2021年度、2022年度を除く）。
- (3) 所属する教育長・学校長等から推薦を受けた、初等中等教育教職員（教育行政職員を含む）であること。（団長についてはこの限りではない）
- (4) 健康で、オンラインを含めたプログラムの全日程に参加が可能であること。
- (5) プログラム期間中の意見交換や文化交流活動に積極的に参加できること。
- (6) プログラム期間中の学びや知見を帰国後に児童生徒や学校、地域に伝える役割を担えること。
- (7) 将来にわたりタイとの教育交流の推進に寄与できること。

特に、タイとの学校／教員／児童生徒／地域間の交流、または定期的な情報交換等を推進する

立場にある者が望ましい。

- (8) 団体行動の規律を守り、主体性を持って積極的にプログラムに参加できること。
- (9) 習慣や文化の異なる国との交流であることを理解し、突然の変更などにも柔軟に対応できること。
- (10) EメールやLINEを用いて円滑に連絡ができ、またMicrosoft Word/Excel/PowerPointを用いて所定フォーマットに必要情報を入力し提出できること。
- (11) 日常会話レベルの英語能力を有すること。
- (12) オンライン交流に必要なPCや通信環境を準備し、活用できること。
- (13) 出発前オリエンテーション（日本国内）からタイの現地、日本帰国に至るまで、参加者負担によるポケットWi-FiやSIMカード等により、携帯電話やスマートフォンなどの通信環境を整え、EメールやLINE等で常に連絡が取り合える状況でいられること（通話を含む）。
- (14) 主催者や実施運営団体の指定する報告書やアクションプラン等を提出できること。

7. 評価と報告

参加者は帰国後、所定の様式によりACCUに報告書等を提出する。報告書等の内容は、ACCU編集の実施報告書やホームページ等に掲載される。

- (1) 第1回参加者報告書提出期限：2025年3月10日（月）正午
※主にプログラム中の成果について報告
- (2) 第2回参加者リフレクション・アクションプラン提出期限：2025年3月24日（月）正午
- (3) 第3回参加者報告書提出期限：2025年7月21日（月）正午
※主に帰国後の取組やその成果について報告

8. 渡航費等諸経費

(1) タイ政府が下記について負担する。

- 往復航空運賃 [日本（東京）とタイ（バンコク）の国際空港間のエコノミークラス航空券]
- タイ国内の移動に要する交通費
- タイ滞在中の宿泊、食事
- タイ国内のプログラム運営に必要な経費

(2) ACCUが下記について負担する。

- 日本国内交通費：自宅からオリエンテーション日の会場までの交通費及び帰国日の羽田/成田空港からの自宅までの交通費の定額（ACCUの規定に準ずる）
- オリエンテーション②当日（出発前日：2月15日）の宿泊費
注1：オリエンテーション②当日、開始時刻までに到着可能な交通手段がない場合に限り、前日（2月14日）の宿泊費を支給する。
注2：帰国当日中に居住地に到着可能な交通手段がない場合に限り、帰国当日（2月22日）の宿泊費を支給する。
注3：本プログラムは所属機関を代表し、基本的に公務扱いでの参加となるため、日当は各所属先等にて負担する。期間を通してACCUから日当は支給されない。

(3) 各参加者の負担

- 海外旅行保険料：プログラム期間中の万一の事故に備え、出発前に必ず各自の責任において加入しておくこと。
- タイ現地で使えるSIMカードやポケットWi-Fiなどを手配すること。
- 上記（1）、（2）以外の諸経費

(4) 旅券と査証について

- 旅券（パスポート）：入国時に6か月以上有効なパスポートが必要。
- 査証（ビザ）：ビザの取得は不要。

9. 現地での使用言語

タイでのプログラムは、おおむねタイ語⇄日本語の通訳が入る予定である。

10. 申請書類や応募方法

参加希望者は、次（1）～（3）のとおり申請すること。

（1）参加者申請フォーム①（指定 URL）にアクセスする

<https://ws.formzu.net/fgen/S99628280/>

（2）参加申請フォーム①の必要事項に漏れなく入力や選択をする

（3）以下 A-C のファイル（必要事項入力、押印済み）を、指定されたファイル形式で、アップロードする（手書きの紙をスキャンしたデータは受け付けません）

A. 参加申請フォーム②【申請者 PR シート】（指定様式、Excel）

B. パスポートの写し（JPEG または PDF）

C. 学校長または所属長の推薦状（PDF）（指定様式）※アップロードの前に Word を PDF に変換すること

アップロードするファイルに関する補足

A. 指定様式は ACCU ホームページからダウンロードする

- ・「2024_参加申請フォーム②【申請者 PR シート】（申請者の氏名）.xls」
- ・PDF に変換せず、Excel 形式のファイルをアップロードする

B. 入国時に6か月以上有効なパスポートの写しを提出する

顔写真、氏名、旅券番号等が記載されているページをスキャン（または撮影）したデータとする

C. 指定様式は ACCU ホームページからダウンロードする

- ・「2024_推薦状フォーム.doc」
- ・推薦する教職員名、推薦する理由、実績、申請者に対する支援体制、選考結果の連絡先を明記し、押印済みの推薦状（PDF）を提出する

11. 締め切り

2025年1月9日（木）正午 必着

※提出資料等の確認が必要な場合に ACCU が申請者に E メール等で連絡する。

12. 選考

応募者多数の場合は、提出された申請用紙をもとに選考を行う。

13. 結果通知

申請用紙に入力されたメールアドレス宛に1月15日（水）を目処に通知する。

※結果通知のため、確実に連絡が取れる連絡先（Eメール）を入力すること。

学校等の冬季休業に重なる時期のため、連絡先には留意すること。

参加決定者には1月下旬に参加者決定通知（電子媒体）を送付する。

14. 情報管理・その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で申請すること。

- オリエンテーションやプログラム期間中に撮影された写真等は、文部科学省、ACCU、タイ教育省の作成する資料やホームページなどの紙・電子媒体で、随時使用、掲示・掲載される。
- 参加者から提出される申請書類にある情報は、プログラム準備・運営のため、必要に応じて、文

部科学省、在タイ日本国大使館、タイ教育省、在京タイ大使館に共有される。

※情報は厳重に取り扱われ、本プログラム運営以外の目的で使用されることはない。

- 学校や教育機関など所属先の代表として参加することにより、プログラムの経験を現在の勤務先の教育実践等に活かすことが求められることに留意する。
- 参加者のアクションプランや教育実践については、ACCUのホームページ等に掲載され、教育関係者にも広く普及される。
- タイ滞在中には、他の参加者と相部屋になる可能性がある。
- 食事制限等がある場合、参加者の希望等にすべて添えない可能性がある。食べられるものを持参いただくなど必要に応じて各自対応することになることがある。
- 本事業への参加後に、アンケート調査等への協力依頼がなされる。

15. お問い合わせ

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) 国際教育交流部

担当：伊藤・田代

住所：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL：03-5577-2853

Eメール：exchange@accu.or.jp